



山口浜屋税理士法人

東京都日野市豊田4-35-6  
アトラス豊田201

TEL 042-586-9050

第36号



代表社員 浜屋 浩

## 年頭所感～「深い読み」とは?～

皆様おすこやかに新春をお  
迎えのことと存じます

皆様にとって、新年が素晴  
らしい年となりますようお祈  
りいたします

・・・

旅行先で車を借りたとき、  
カーナビがあると便利です。  
行先を登録しさえすれば、あ  
とは指示に従って運転するだ

けで目的地までたどり着ける  
のは、ありがたいことです。

しかし、便利さを享受する  
一方で「自分で地図を見なが  
ら複数ある行き方を考える」  
というプロセスがなくなって  
しまうことは、「試行錯誤しな  
がら考える能力を向上させる  
機会を失っている」とみるこ  
ともできるでしょう。

カーナビに限らず、似たよ  
うなことは他にもありそう  
です。

最近、「デジタルで読む脳  
紙の本で読む脳」という本を  
読みました。著者のメアリア  
ン・ウルフは米国の認知神経  
科学や発達心理学を専門とす  
る脳神経学者です。

ウルフは読むことについて、デジタル媒体は速読向きであり、この読み方に染まると人は短絡的になり得るのに対して、紙の本は深く読む脳を育てると述べています。デジタル書籍ではつい読み流してしまい、吟味がおろそかになり、深い読みができないとも指摘しています。

2000年から17年かけて17万人の若者を対象にして行った比較調査によると、紙で読むほうが話の内容・筋立て・場面などをよりよく記憶し、理解できたという結果となりました。

真の理解は、時に立ち止まったり、後戻りしながら作者の姿が現れるのを待つことで得られるのでしょうか。

また、近年話題になっているChatGPTを利用する際にも同様の注意が必要です。

ChatGPTは対話形式で様々なタスクを指示することができて、尋ねた内容に対して回答してくれます。ウェブ上で入手可能なデータ、本、プログラムコードなどをもとに学習しており、その量は書籍で1,000万冊分に達しています。私たちの生活や仕事、社会をかえる新しいツールとなり、利用の仕方によっては有益な情報を得ることができますが、学習したデータにはなかった事実を本当にあるかのように答えてしまうこともあるようです。

ChatGPTに「あなたの苦手なことは何でしょうか」と質問してみたところ、回答は

- ・情報の入手の時期が限られていること。
- ・意味の理解と推論の限界があること
- ・感情の理解と適切な応答が難しいこと
- ・具体的なアクションの実行をすること

などでした。これまで蓄積されてきたデータを参照するのですから、直近の研究成果を反映することは困難ですし、言葉の正確な理解や推論に不十分な点があることにも注意が必要でしょう。将来的にはこれらの弱点は改善されていくことが予想されますが、少なくとも現状ではその能力を過信することなく、あくまで道具として利用すべきだと考えます。

デジタル機器からの情報の取得は、これからますます加速していくでしょう。

しかし、溢れる情報に惑わされたり、短絡的な思考に走らない粘り強い知力が大切でしょう。

メアリアン・ウルフは著作のなかで、哲学者のマーサ・ヌスバウムの言葉を紹介しています。「技術的に有能であっても、批判的に考え、自分自身を省み、他人の人間性を尊重する能力を失った人々の国になることは悲惨である…（中



略) …いまこそ、自分自身の論理的思考に責任をもてる市民、異なる人や外国人を反撃すべき脅威ととらえるのではなく、探って理解してと誘っているのだと考える市民を生み出すための取り組みを支援し、本人の知性と市民としての能力を高めることが重大な急務なのだ」

この言葉は20年前のもですが、自国中心主義を標榜にする政党が政治の表舞台で影響力を示すようになった現在にもあてはまる重要な指摘ではないでしょうか。

読みの深さは読み手の経験値や問題意識によって決まるように思います。

「眼光紙背に徹す」という言葉がありますが、幅広い情報を深く読んで必要な情報を皆様にお届けできるように努めてまいります。

本年もよろしく願いいたします。(浜屋 浩)